



一般社団法人日本ボッチャ協会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



2021年6月15日

一般社団法人日本ボッチャ協会

【取材のご案内】 一般社団法人日本ボッチャ協会、 JR 東日本、福島市・白河市と SDGs の取り組み連携

福島市・白河市と、一般社団法人日本ボッチャ協会(以下、「日本ボッチャ協会」という。)と相互協力に関する協定書を締結いたしました。

本協定は、市民が障がい者スポーツに親しむ機会を提供するとともに、市民の健康増進及び子どもたちの健全育成並びに共生社会のさらなる進展そしてスポーツを通じた活気ある地域社会の構築等に寄与することを目的とし、協力関係を結ぶものです。

また、白河市にある JR 東日本総合研修センターにおいて、日本ボッチャ協会の日本代表合宿を定期的に開催しており、今年度では2回目の実施となります(今回の合宿は6月11日(金)~27日(日))。この合宿期間中には、日本ボッチャ協会主催の「サポーター養成講習会」も実施し、強化支援だけでなく、更にパートナーシップを強める活動を行っております。

障がいの有無や年齢等にかかわらず楽しむことが可能なボッチャを通じ、共生社会の実現と地域社会への貢献に努められている東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長:深澤祐二)とは本事業を通じて社会課題の解決や SDGs の達成にも共に取り組んでまいります。

日本ボッチャ協会は、地域と企業がスポーツでつながり、持続可能な目標を達成することで、障がい者、健常者、LGBTQ、すべての人が、「一緒に当たり前」となる社会づくりを目指します。



【ボッチャ×SDGs で目指す8つの持続可能な項目】



これからは、社会課題の解決に向けて企業に求められる枠割の変化、そしてボッチャというインクルーシブなスポーツとで果たすべき枠割について、さらに理解を深めながら地域や企業様と共に SDGsの達成に取り組んでまいります。

(本件に関するお問合せ先)

一般社団法人日本ボッチャ協会 東京事務所

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 4 階

(公財)日本財団パラリンピックサポートセンター内

担当:広報担当 三浦裕子 media.japanboccia@gmail.com